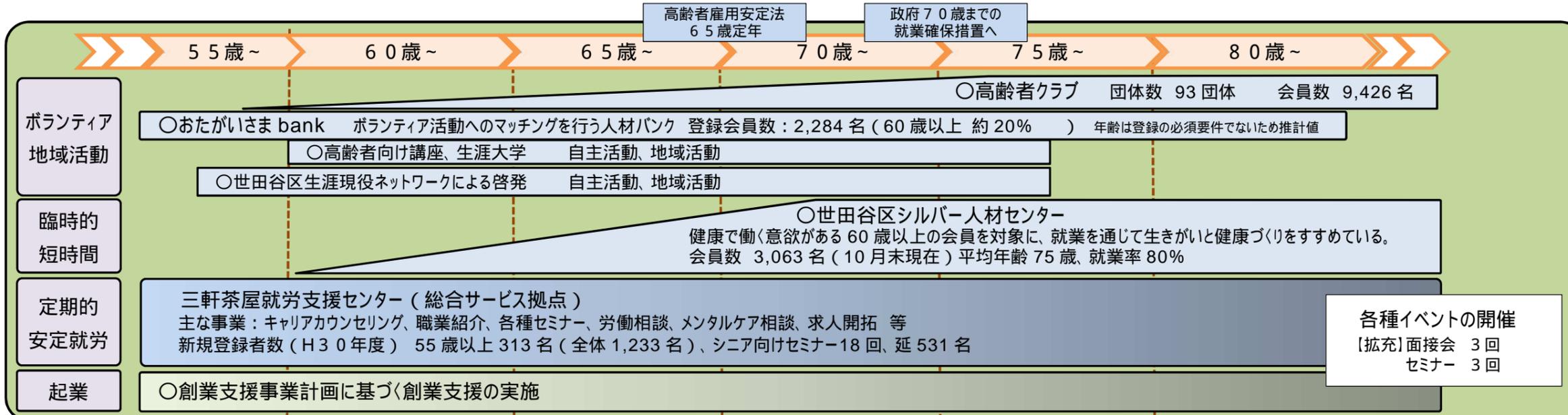


高齢者の社会的孤立を防ぎ、健康増進を図るため、高齢者の地域参加促進施策を拡充する。

- ・区の高齢者人口 約18万3千人（令和元年4月現在） 65歳以上の高齢者のうち働いている区民 44,855人（平成27年国勢調査）
- ・家族を含む他人とあいさつや会話をする程度が2週間に1回以下の高齢者 約5,000人



生活文化部	高齢者の社会参加の課題	課題解決のための施策
	既存の活動団体（高齢者クラブなど）の高齢化が顕著になっており、新たな会員確保が進まない	【新規】有償ボランティアによる社会参加の促進 予算額 3,000千円 地域の課題解決に高齢者を活用する事業の立ち上げ助成を行うことで、高齢者が地域に参加できる機会を増やす（高齢者クラブにおいて経験やスキルを活かした社会貢献型クラブ活動の立ち上げ支援）
	比較的若い高齢者の参加しやすい活動が少ない	【新規】官民連携による高齢者の健康増進の支援（令和2年度検討、試行） 民間のスポーツクラブ等と連携し、高齢者が身近に出かけることができる場を増やす
	高齢者が持つ経験やスキルを地域で活かせる場が不足	世田谷ボランティア協会との連携強化 おたがいさま bank によるマッチングコーディネート強化

経済産業部	高齢者就労の課題	中小企業の課題	課題解決のための施策（目標就労者数 1,000名） H30年度実績 ハローワーク渋谷と産業振興公社での60歳以上の区民就職実績 896名
	サービス業などで高齢者の雇用が進んでいるが、高齢者の人材不足産業への就労意向は低い	人材不足（販売、清掃、介護）	【新規】「事業所見学付き面接会」の開催 予算額 5,003千円 人材不足産業の仕事の現場を見学し魅力を発信することで、希望職種の幅を広げる
	近所の短時間就労、在宅就労等多様な就労の創出	業務の見直しによる生産性向上の必要性	○【新規】AIを活用した求人と求職のマッチング調整機能の研究 予算額 6,075千円（令和2年度検討、試行） 高齢者の経験やニーズ等傾向と、単発や細かい仕事をもとに適性業務を導くことや即時マッチング、魅せる求人開発などの研究
	高齢者が希望する仕事の量と種類が不足		○【拡充】三茶おしごとカフェの高齢者求人開拓 予算額 5,075千円 高齢者が希望する求人を重点的に開拓するため新たに増員
	高齢者就労希望者の傾向把握	多様な働き方を理解	○【拡充】雇用問題連絡会議での情報共有（ハローワーク、労基、東商、社労士、シルバー、公社、区）

地域で活躍する高齢者自身が、支援を必要とする人を支え、地域参加を促す



第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた議論の中で、ビジョン及び更なる取組みを具体化

高齢者が誰でも地域に参加し、健康寿命を伸ばし、社会で活躍する